第５学年　国語科学習指導案

５　年　　３４名
指導者　　瀧　　敦　子

１　単元名　　伝記に書かれた人物の生き方に触れて
～いろいろな人物の伝記発表会をしよう～

中心教材「マザー・テレサ」（東京書籍　５年下）
発展教材「キュリー夫人」教育出版「アンリー・デュナン」光村図書
「マザー・テレサ」大阪書籍「洪庵のたいまつ」大阪書籍
「モンゴメリー伝記」学校図書「ガリレオ・ガリレイ」日本書籍
[レイチェル・カーソン]学校図書　「手塚治虫」学校図書

２　指導にあたって

（１）単元設定の理由

本学級の学習者は，朝の読書の時間，次第に静かに読書ができるようになってきた。しかし，読んでいる本は「ひみつ」シリーズ等が多く，文学作品や伝記などを読んでいる学習者は少ないようである。

５年生の後半になるこの時期，学習者は自分の生き方や将来について考える者もいるであろう。そこで，伝記など事実に基づいた物語に出会わせ，いろいろな人間の生き方に興味をもったり，将来の夢や自分の生き方について考えたりすることができるようにしたい。国語の教科書には伝記教材「マザー・テレサ」がある。これを中心教材として単元学習を組むことにした。

本単元では，「いろいろな人物の伝記発表会をしよう」という活動目標のもと，まず「マザー・テレサ」を扱う。この教材は，ノーベル賞を受賞したマザー・テレサがインドで貧しい人たちのために実践したことが，テレサ自身のことばとともに書かれた感動的な作品である。テレサの行動やことばを整理し，そこから見えてくるテレサの考え方や生き方について話し合う。次に，マザー・テレサのことを紹介するためにはどんなことを書けばよいかを考えさせ，紹介パンフレットを作る。この学習をもとに，発展教材として８つの伝記から興味のある人物を選んで読み，同じ伝記を選んだ者でグループを作り，人物を紹介し合うようにする。

本単元で使用する８つの学習材は，第５，６学年の国語教科書に掲載されていた伝記教材である。授業で扱う時間的なことや人物の一生が集約されていること等を考慮し，図書室の本ではなく，教科書教材を使用することにした。学習者が興味，関心のある人物を選んで紹介することは，自ら学ぶ主体的な取り組みにつながるのではないかと考える。

本時は伝記紹介の２時間目に当たる。グループごとの紹介からどんな生き方や考え方の人物であるかを知るとともに，人物に対する友達のいろいろな感想を聞き，自分の考えを深めるようにする。さらに，伝記の人物には生き方や考え方などで共通する点があることに気付かせ，人物の生き方について興味をもって考えることができるようにしたい。この学習を通して人物の生き方について考えるとともに，目指す生き方を求め，これからも伝記を読もうとする意欲，態度を育てていきたい。

（２）活用する力の育成を図るために

本単元における活用する力を育成する場は，第３次，第４次の選んだ人物の伝記紹介をする場である。学習者が人物の生涯や業績，ことばなどについて紹介内容をまとめる過程で，目的に応じて書く事柄を収集し，分かりやすく整理して書くことで活用する力の育成を図りたい。本時は第４次の第３時で，その発表の場である。ここでは，選んだ伝記人物の生き方やそれに対する考えが明確に伝わるように話の構成を工夫しながら，場に応じた適切な言葉遣いで話すことができるよう紹介の仕方の例を示して支援をしたい。

3　単元の目標

（1）学習者の活動目標

いろいろな人物の伝記発表会をしよう。

（2）指導目標

○　伝記など事実に基づいた物語に興味をもち，進んで伝記の紹介をすることができるようにする。

○　紹介する伝記の内容や人物の感想を整理して話すことができるようにする。

○　伝記を紹介するために内容を整理して書いたり，人物についての考えを書いたりできるようにする。

○　伝記に書かれた出来事や人物の生き方，考え方などを読み取り，感想や考えをもつことができるようにする。

4　単元の評価

	評 価 規 準	○「十分満足できる」と判断される状況 ◎「おおむね満足できる」状況にするための手だて	評価の資料
関心・意欲・態度	伝記など事実に基づいた物語に興味をもって読もうとしている。	○　伝記を進んで読もうとしたり，積極的に紹介しようとしたりしている。 ◎　友達の読書感想文や現役で活躍している人物の伝記的内容などを話題にし，伝記に興味をもつようにする。	・学習者の様子
聞くこと話すこと	紹介する伝記の内容や人物の感想を整理して話している。	○　伝記の内容や人物に対する感想が明確に伝わるようにはっきりと話している。 ◎　紹介の仕方の例を示したり，発表原稿を作ったりして話すことができるよう支援する。	・学習者の様子
書くこと	伝記の内容や人物についての考えを整理して書いている。	○　紹介したい内容や自分の考えが明確に伝わるように書いている。 ◎　紹介したい内容について書き出しの手引きを示して書いたり，自分の経験と比べながら考えをまとめたりするよう助言する。	・発表資料
読むこと	伝記に書かれた出来事や人物の生き方，考え方を読み取り，自分の考えをもっている。	○　叙述に即して出来事や人物の生き方，考え方を的確に読み取り，それに対する考えをもっている。 ◎　人物の理想や考えに関わる部分を示し，それについてどう思うか問いかけ考えをもつことができるようにする。	・ワークシート

5　学習計画

学習活動	学習者の意識の流れ	主な指導・支援	身に付けさせたい力
（事前） 第１次（１時間） ○　教材文を読んで初発の感想を交流し，学習の計画を立てる。 第２次（５時間） ○　全文を３つのまとまりに分け，内容を読み取る。	○○の伝記を読んだことがある。 ○○ってどんな人だろう。 人の生き方を描いた作品を読んで，伝記発表会をしよう。伝記発表会はどんなことを紹介をしたらいいだろう。 初めに教科書の「マザー・テレサ」を読もう。 マザー・テレサはいつ，どこで生まれた人だろう。 マザー・テレサはどんなことをした人だろう。 「青空教室」で文字を書いて教えたんだな。 捨てられた子どものために「孤児の家」を造ったんだ。 死にかけている人も見捨てないで，「死を待つ人の家」が造られたんだ。 マザー・テレサがノーベル平和賞を受賞した時や飛行機でのエピソードは，テレサの人柄を表しているな。読んでみよう。 普段着の白いサリーと皮ぞうりという姿で授賞式に臨んだんだ。 飛行機の運賃を節約するために，「スチュワーデスにしてください。」と言ったんだ。	☆　友達の読書感想文を読み聞かせ，伝記への関心が高まるようにする。 ☆　単元の目標を知らせ，学習の見通しをもつようにする。 ☆　難語句の意味を説明し，感想をもつようにする。 ☆　まとまりごとに書かれている内容を読み取るようにする。 ☆　どんな出来事があり，テレサのどんな考えや願いから行ったことかを読み取るようにする。 ☆　テレサの考えや人柄が表れているところを読み取るようにする。	伝記に興味をもって読もうとする。 教材文を読んで感想をもつ。 叙述の内容を押さえながら読み取る。 テレサが貧しい人達のためにしたこととともに，テレサの考えや願いを読み取る。 叙述に沿って内容を読み取る。
○　マザー・テレサの生き方について考える。	マザー・テレサの生き方について考えよう。 テレサさんの生き方で心をひかれたところは・・・ テレサさんの生き方や考え方で，取り入れたいと思うことは・・・	☆　書き出しを示した手引きにより，テレサの生き方について自分の考えを書くようにする。	テレサの生き方について自分の考えを書く。
○　紹介パンフレットを作る。 第３次（４時間） ○　伝記を選んで読む。 ○　伝記を読んで内容をまとめる。 ○　発表の分担を相談し，発表資料を書く。	これまでに書いたマザー・テレサのことをまとめて，紹介パンフレットにしよう。 誰の伝記を読もうかな。 ワークシートに記録しながら読んでいこう。 グループで発表の分担を相談しよう。 どんなことをした人かをまとめたい。 どんな考えをしていたのかをまとめたい。 心に残ったことばがあるよ。	☆　これまでのワークシートをまとめ，振り返りをする。 ☆　伝記について簡単な説明をして，選ぶようにする。 ☆　人物の行動や出来事，考えなどを整理しながら読み進める。 ☆　まとめたワークシートをもとに，分かりやすく紹介できるように書く。	伝記人物の紹介の仕方について知る。 叙述に沿って内容を読み取る。人物に対する感想をもちながら読む。 伝えたいことを整理し，分かりやすく書く。
第４次（４時間） ○　発表の練習をする。 ○　伝記発表会をし，感想を話し合う。 （本時３／４）	グループで発表の練習をしよう。 大きな声で発表して聞いてもらおう。 ○○さんのことが分かった。自分の伝記の人と考え方が似ている。 業績は違っても生き方や考え方で似ているところがあるようだ。	☆　発表原稿の準備をして練習するようにする。 ☆　紹介の仕方の例を示して発表するようにする。 ☆　人物について感銘を受けた所や自分が読んだ伝記と比べて聞くようにする。	紹介するために書く事柄を整理し，全体を見通して書く。 明確に伝わるように，話の構成を工夫する。 人物についての友達の感想を聞き，自身の考えを深める。
○　これまでの学習を振り返る。	伝記は立派な人の生き方や考え方が分かって，おもしろいと思った。 自分もこれから・・・ ○○さんの伝記を読んでみたいな。他にどんな人の伝記があるかな，図書室へ行ってみよう。	☆　伝記学習をして学んだことや成長したことなどに気付くようにする。 ☆　興味をもった人物の伝記を読み広げられるようにする。	学習を振り返り，自身のものの見方や考え方の変容を見つめる。 伝記を進んで読もうとする。

６　本時の学習

（１）目　標

①学習者の活動目標

伝記発表会をして人物の生き方や考え方を話し合う。

②指導目標

選んだ人物の伝記を紹介し合うことにより他者の読みにふれ，人物の生き方や考え方について自分の考えをもつことができるようにする。

（２）展　開

学 習 活 動	指導・支援	具体の評価規準	評価の資料
１本時のめあてをつかむ。	○　前時を振り返り発表に意欲をもたせ，本時のめあてを確認する。		
伝記発表会をして人間の生き方や考え方を話し合おう。			
２　同じ伝記を読んだグループごとに発表をし，感想を話し合う。	○　声の大きさや速度など場に応じた適切な話し方で発表するようにする。 ○　紹介された人物について感銘を受けた所や自分が選んだ伝記と比べて聞くようにする。	発表を聞いて自分なりの感想や考えをもっている。	発言
３　紹介された人物の生き方や考え方について話し合う。	○　紹介された人物の生き方や考え方で共通する点について気付くようにする。		
４　伝記発表会を振り返り，本時のまとめをする。	○　伝記の紹介を聞いて心に残ったことや人物について考えたことを書くようにする。	人物の生き方や考え方について自分の考えを書いている。	ワークシート

(３)本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	人物についての紹介や心に残ったことから，人物の生き方や考え方について自分の考えを書いている。
「おおむね満足できる」状況にするための手だて	人物の生き方や考え方について自分なりの考えが書けるように，書き出しの例を示す。